

# 【青森公立大学 トップ・マネジメント・セミナー】 「新しい『公』を構想する」

第1回 平成18年 2月11日(土) 18:30~20:30

講師 青森公立大学 教授 佐々木 俊介

テーマ 「地域担い手論 - 新しい『公』を求める地域の動き」

第2回 平成18年 2月26日(日) 14:30~16:30

講師 青森公立大学 教授 志賀 敏宏

テーマ 「IT活用時代における公共への新しい期待」

第3回 平成18年 3月4日(土) 14:30~16:30

講師 青森公立大学 教授 遠藤 哲哉

テーマ 「自治体経営改革と新しい『公』への視座転換」

第4回 平成18年 3月11日(土) 14:30~16:30

講師 青森公立大学 教授 阿波田 禾積

テーマ 「『小さな政府』への移行と新しい公と私の関係」

第5回 平成18年 3月18日(土) 14:30~16:30

講師 青森公立大学 教授 村田 晴夫

テーマ 「新しい経営思想の要請 公と私の間」

**会 場：いずれの回も アウガ5階 男女共同参画プラザ・カダール 研修室**

・受講料 無 料

・対 象 自治体職員、公共性の強い民間企業の管理職、NPO/NGO職員、  
その他各テーマに興味をお持ちの一般の方

・定 員 30名

・申込方法 開催日前日までに受講を希望する「テーマと開催日」および住所、氏名(フリガナ)、性別、年齢、  
連絡先(電話番号)を記入し、葉書、FAX、またはEメールでお申し込みください。

葉書の宛先 〒030-0196 青森市合子沢字山崎 153-4 青森公立大学地域研究センター公開講座係

FAX送り先 青森公立大学 地域研究センター TEL:017-764-1593

E-mail アドレス kouza@bb.nebuta.ac.jp

青森公立大学まちなカラボ(青森駅前再開発ビル アウガ6階)でもお申し込みをお受け致します。

主催 青森公立大学 地域研究センター

TEL:017-764-1589 URL:<http://www.nebuta.ac.jp/chiken/>

# 「新しい『公』を構想する」

## ～ 内 容 ～

第1回 平成18年 2月 11日 (土) 18:30～20:30 佐々木 俊介

### テーマ 「地域担い手論 - 新しい『公』を求める地域の動き」

社会共通の立場である『公』や共通の利益である『公益』は、地域づくりの中でもっともわかりやすく表れます。これまで地域づくりや『公』は行政が担うものと見なされてきましたが、近年、大きく変化しています。積極的に活動するNPOや市民グループ、社会貢献に努力する企業経営者、旧来の枠にとらわれず活動する行政職員など。それらの新しい担い手たちの活動を紹介しながら、これからの時代の新しい『公』を考えます。

第2回 平成18年 2月 26日 (日) 14:30～16:30 志賀 敏宏

### テーマ 「IT活用時代における公共への新しい期待」

音楽配信を利用した不正コピーとその防止、オープンソース(公共財的)ソフトウェアの提供など、IT技術とその活用の高度化が、私権と『公』の関係に新たな課題を投げかけています。IT漬け社会に対する「サンクチュアリ」としての地域・自然の意義等も含めて、『公』に対する新しい期待について、問題提起します。

第3回 平成18年 3月 4日 (土) 14:30～16:30 遠藤 哲哉

### テーマ 「自治体経営改革と新しい『公』への視座転換」

自治体(日本、米国)における政策イノベーションの創発プロセスと組織マネジメントの改革を検討しつつ、市民セクターや企業セクターとの協働の可能性と条件を考え、新しい「公」のあり方を展望します。「協働」では、成果だけでなく、むしろ成果に至るプロセスが重要であり、理念や文化といった人々の価値観や「やりがい」に目を向ける必要があります。生きがいや「やりがい」を育みながら改革を進め、新しい「公」の創出がどのようにすれば可能か、検討していきます。

第4回 平成18年 3月 11日 (土) 14:30～16:30 阿波田 禾積

### テーマ 「『小さな政府』への移行と新しい公と私の関係」

「小さな政府」を目指した公共部門の改革、たとえば規制改革、民営化、民間の資金・資源や経営管理手法を活用したPFIや新しい公共管理(NPM)方式の導入が進展する中で、「新しい公」の概念のように公共サービスの提供の仕方、担い手は多様な形態をとるようになってきています。今回は「政府の役割」や「市場の機能」など経済学的な視点からこのような動きの背景にある重要なことがらを読み解いていきたいと思えます。

第5回 平成18年 3月 18日 (土) 14:30～16:30 村田 晴夫

### テーマ 「新しい経営思想の要請 公と私の間」

情報化とグローバリゼーションが進展する時代にあって、民の力がいっそうの活力を持ち、これまでの企業文明社会は変化して行くでしょう。そこでは民の力をリードして行く思想としての新しい経営思想が要請されています。人間性を育み、地域の文化性を生かしつつ世界に参加する視点こそ、これからの経営思想の基本となります。一人ひとりが生き生きと活動する世界としての、新しい『公』を構想します。